

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
感染症学	1年次 後期	必修	講義	1単位（30時間）	小林 憲忠 ※
授 業 概 要					
<p>病原体と感染症、感染の成立に関する基本的な知識を解説する。病原性微生物の特徴を理解する上で重要な「生体防御学」について、細胞学・生物学・生理学の観点より基本概念を学ぶ。患者の状態（年齢・性別・疾患など）により変化する生体防御機構と病原微生物による感染症との関係について応用力を養う。また、滅菌法や消毒法を含めた標準的予防策（スタンダードプレコーション）についても学習する。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染が成立する経路と予防法の概要を説明する。</li> <li>2. 病原性微生物に対する生体防御機構を説明する。</li> <li>3. 病原微生物の特徴について理解する。</li> <li>4. 病原微生物の特徴に応じた消毒法・感染予防法・治療法を説明する。</li> </ol>					
実務経験のある教員					
<p>小林 憲忠：日本環境感染学会評議員兼ICDとして活動中。臨床経験を踏まえ、真菌、細菌およびウイルスに関して、取扱い、感染予防および感染時対処方法に関する幅広い知識に基づき教授する。</p>					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染症とは</li> <li>2. 病原体と病原性</li> <li>3. 感染の成立 感染経路 感染後の経過</li> <li>4. 生体の治療と予防 生体防御機構 病原体と化学療法</li> <li>5. さまざまな病原性微生物 細菌 ウイルス 真菌 原虫 寄生虫</li> <li>6. 臨床現場で頻度が高い感染症の特徴と治療・予防</li> <li>7. 再興感染症・新興感染症・感染症分類・予防対策</li> <li>8. 感染症予防のための予防接種および滅菌と消毒</li> </ol>				小林 憲忠 ※
学 習 方 法					
講義および小試験					
評 価 方 法					
小試験（30%）および科目修了試験（70%）					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
<p>[教科書]          系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進④ 微生物学 南嶋洋一 他著 医学書院</p>					